

## 1. 地域資源の把握

### 地区周辺の地域環境

丘陵地区は神於山を望む裾野にある里山と農地が一体となった地区であり、集落地から最も身近にふれあえる自然環境があります。旧来より「人の手」を入れながら形成された自然環境であり、景観上斜面地の果樹園やため池が大きな特徴となっています。地区内には生活道路として里道が発達し、神社や祠などがあり、身近な自然環境を活かしながら地域が形成されています。また、蜻蛉池公園が丘陵地区付近に近接しています。



神のおわす山『神於山』からの眺望



蜻蛉池公園



地区内にある里道



地区内外にある神社や祠



果樹園



ため池

### 地区周辺の産業関連施設

丘陵地区の周辺には近畿職業能力開発大学校や JA いずみの営農総合センターが立地しており、今後の産業振興が期待されます。また、地区内には営農基盤もあります。



営農基盤の整った農地



近畿職業能力開発大学校

### 現在の農地の状況

岸和田市丘陵地区の周辺には蜻蛉池公園・神於山があり、自然環境が豊かな場所に立地していますが、戦後社会経済情勢が大きく変化する中で農業を中心とした豊かな空間には放棄農地や竹林が増え、新たなまちづくりによる環境の再生が必要です。

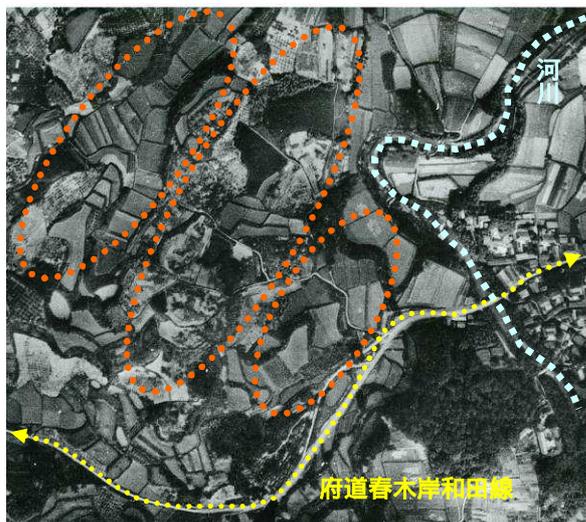


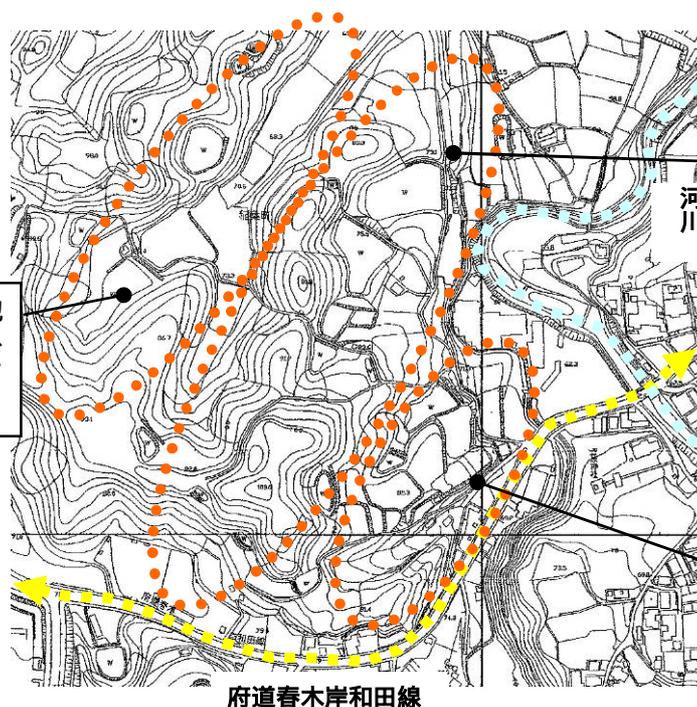
図 昭和 21 年頃の丘陵地区



図 現在の丘陵地区

昭和 21 年の航空写真から、丘陵が入り組んだ複雑な地形にあわせ、斜面地は果樹園、谷筋では田畑とし、農業をさかに行っていたことが伺えます。

現在の航空写真と比較すると、かつて田畑や果樹園であったところは、竹林や放棄地に変わりつつあることが伺えます。



：谷筋にあった農地が放棄され、竹林などに变化している。

：斜面地にあった果樹園が減少し、竹林などに变化している。

：農地が減少し、竹林などに变化している。

図 過去と現在の航空写真比較

### 植生の状況

岸和田市丘陵地区内において植生調査を行い、耕作地（田・畑）、果樹園、放棄地の分布状況について分析を行いました。昭和初期からは減少していますが、一定のまとまりを持った耕作地や今後、再生の可能性がある放棄地があることが分かりました。

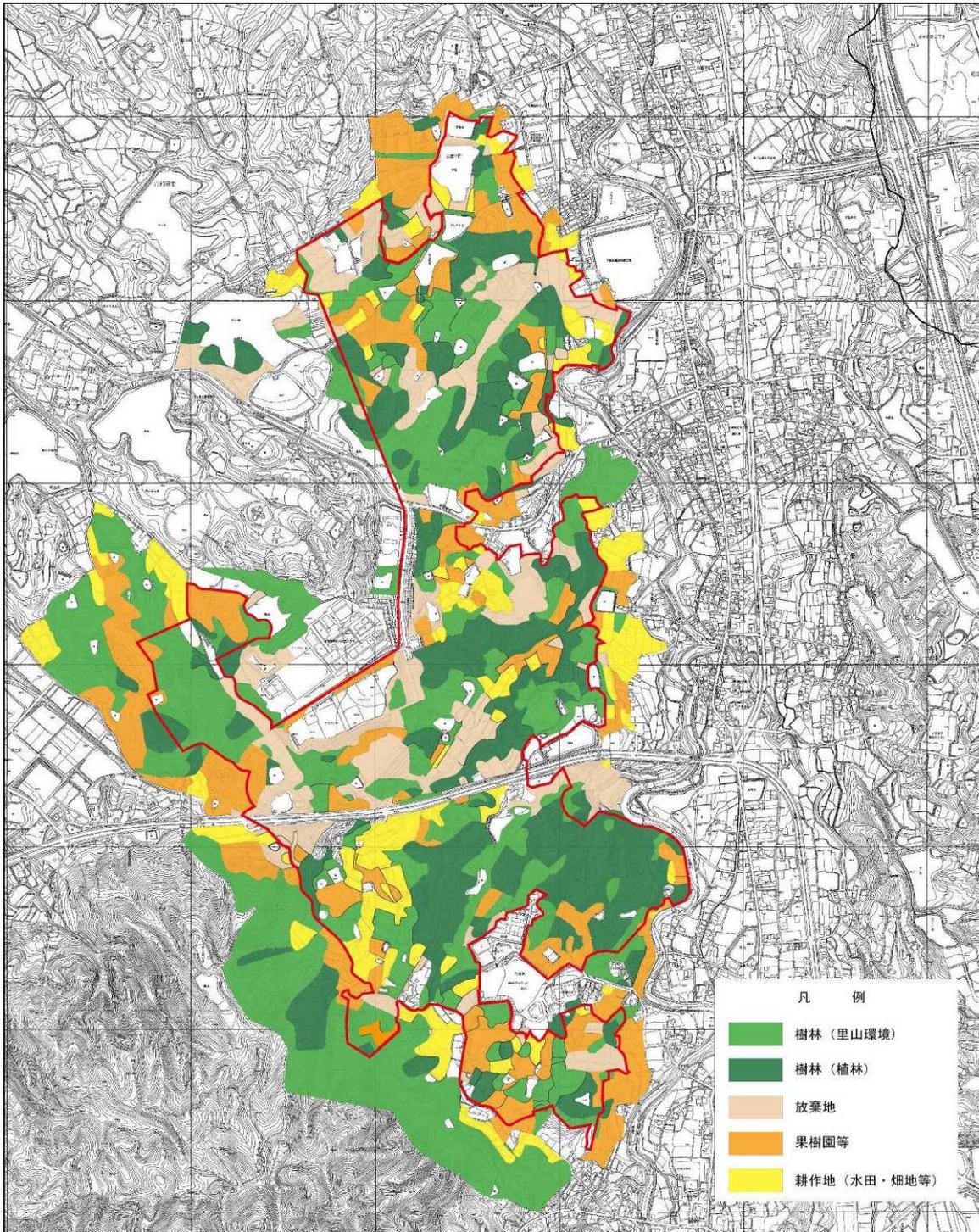


図 植生調査による耕作地等の状況

2010年5月調査

### 水系の状況

地区内の流域は大きく春木川流域と牛滝川流域に別れています。地区内及び地区周辺にはおおよそ 120 箇所のため池が分布しており、そのほとんどは規模が小さい状況です。また、主要なため池は水路や河川によってネットワークされています。また、景観上も重要な要素であるため、活用に向けて検討していく必要があります。

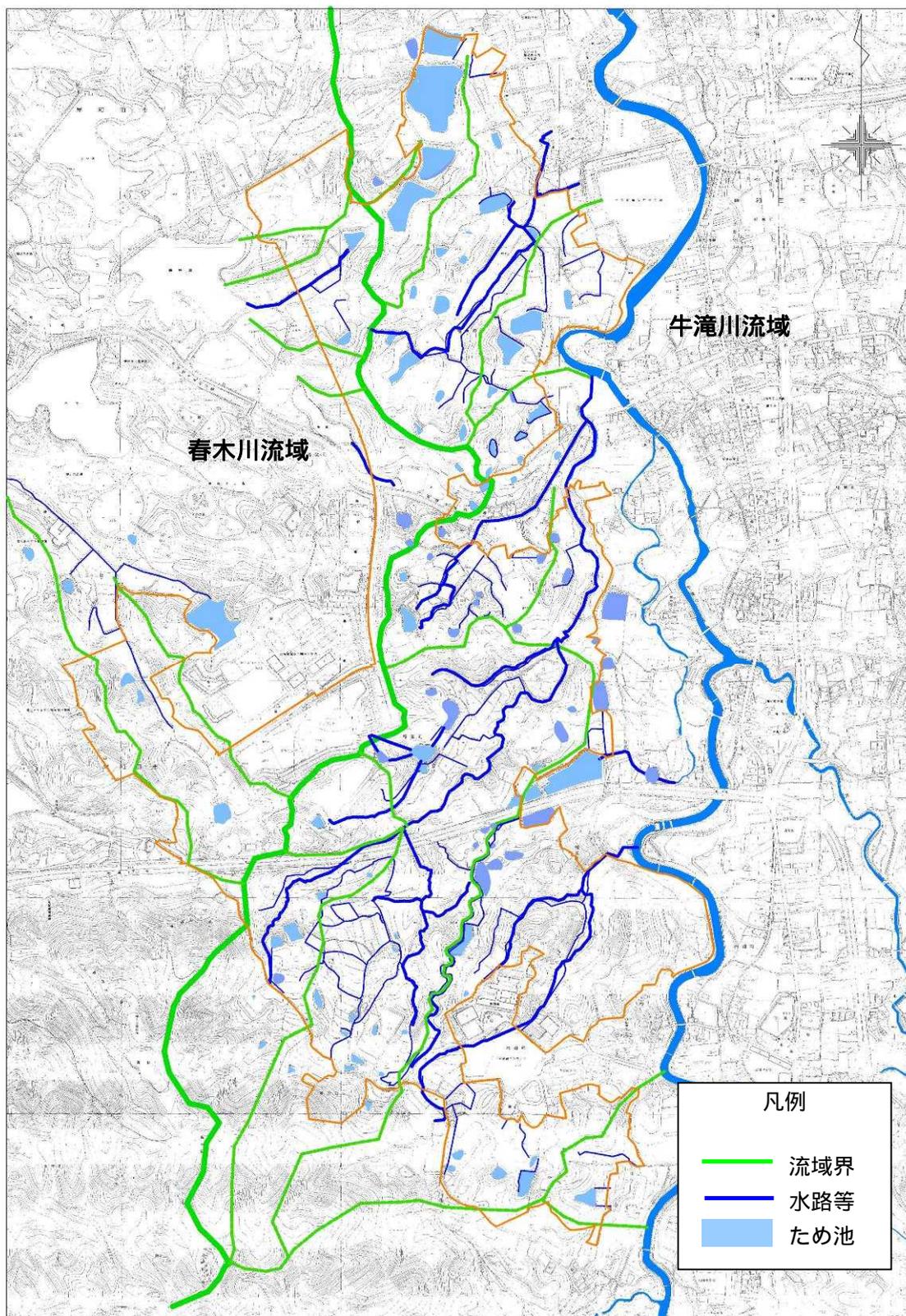


図 ため池や河川・水路の状況